

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
分野	市民文化
基本方針	文化・芸術の振興

施策番号	5-01-①
施策名	“ふるさと草津の心(シビック・プライド)”の醸成

施策の概要
 本市の魅力資源を、市民の生活やまちづくりのテーマに生かして、市民のまちづくりへの参画と市民としての自負へと結びつけます。

成果指標(単位)	草津市シティセールスアクションプランの重点アクション達成率(%)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	85	90	95	100	
実績値	83	82.3	91.6	84.6	71.4

成果指標実績に対するコメント
 数値化した重点事業について、新型コロナウイルスにより多くのイベントが中止や延期され情報発信にも影響を及ぼしたため、達成率は前年度より減少したが、14項目中10項目で目標を達成した。(前年度:13項目中11項目達成)

施策の達成度評価
 草津市シティセールスアクションプランに沿って、市ホームページや広報くさつ、テレビ・ラジオをはじめ、学生との連携事業、たび丸、くさつブースターズ等を活用し、戦略的に情報発信をした。(たび丸へのお便り募集、くさつブースターズによる健幸メッセージの発信等)
 ふるさと寄附では、寄附金額が前年度より11%減少したが、草津ならではの返礼品を積極的に開拓した結果、返礼品取り扱い事業者を新規に9事業者追加するなど、ふるさと寄附を通じて、草津市のPRを積極的に行った。
 新型コロナウイルスによりイベントの中止や延期など各方面へ影響が生じたことから、従来通りの情報発信について見直しが必要な状況であり、状況に応じた広報戦略が必要であった。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 草津市シティセールスアクションプランにおいて推進してきた取組は成果があったと考えられることから、今後も引き続き、多様なメディア等を活用しながら、効果的な広報戦略に努めていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
シティセールス推進事業	広報課	○	新型コロナウイルスによる社会的影響に伴い、従来通りの広報について見直しが必要となり、一部の目標値は達成していないものの、状況に応じた戦略的な広報が打ち出せた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ふるさと寄附運営事業	広報課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	5-01-②	まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
		分野	市民文化
		基本方針	文化・芸術の振興
施策名	文化・芸術活動の推進		

施策の概要

文化振興に関する条例を制定し、市民の文化活動を奨励するとともに、文化施設の充実を図ることにより、多様な発表・展示・鑑賞の場の機会づくりを進めることで、一層の文化・芸術活動の振興を図ります。

成果指標(単位)	文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合(%)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	21	22	23	24	
実績値	20.4	20.9	21.6	21.2	21.2

成果指標実績に対するコメント

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、多くの事業が中止または縮小となったが、市民意識調査の結果、文化・芸術の振興が図れていると思う市民の割合は、前年度と同じ21.2%となった。コロナ禍でも感染対策を講じながら、実施可能な事業は実施したことが評価されていると考える。

施策の達成度評価

コロナ禍ではあったが、草津市文化振興計画に基づく各取組を実施し、多様な発表・展示・鑑賞の場を市民へ提供することで、市民の文化・芸術活動の振興を図った。また、県との共催により、障害の有無等に関係なく誰もが文化に親しむことができる機会を提供するため、商業施設と連携したアウトリーチコンサートや、文化ホールへのインリーチコンサートを開催した。
今後も引き続き、感染症の影響下においても実施できる事業を検討していく。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、文化ホール指定管理者、各文化団体、アーティスト、事業者等と連携し、草津市文化振興計画に基づく各取組を実施していく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大により、一時、文化ホールの休館措置を取った他、市や文化ホールの事業が中止となり、市民の文化活動も自粛を余儀なくされた。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市美術展覧会開催事業	生涯学習課	○	展覧会を開催し、市民に発表・鑑賞の機会を提供できた。出品者および観覧者が減少傾向にあることから、実行委員会、文化振興審議会と見直しに向けた取組を進めた。
市民文化芸術活動支援事業	生涯学習課	○	県や事業者との連携により、産官民の協働による文化振興に取り組むことができた。
俳句のまちづくり事業	生涯学習課	○	青少年俳句大会やふるさと草津俳句会などの事業を実施し、市民が俳句に親しむ機会を提供できた。
文化ホール管理運営事業	生涯学習課	○	文化活動の拠点施設として、コロナ対策を講じながら指定管理者による事業の展開や適切な施設管理が行われた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	5-01-③	まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
		分野	市民文化
		基本方針	文化・芸術の振興
施策名	文化財の保護と活用の推進		

施策の概要

発掘調査をはじめとした各種の文化財調査を推進するとともに、市内に残る歴史資産の実態を解明し、その成果を公表します。また、国指定史跡等の地域と一体となった保存整備、文化財指定の推進、伝承者への支援など積極的な保存対策を講じます。

成果指標(単位)	文化財指定件数(件)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		91	92	93	94
実績値	90	93	94	94	94

成果指標実績に対するコメント

令和2年度には、市指定文化財「紙本金地著色王会図 六曲一双」が県指定文化財に指定されるなど、本市の指定文化財の状況に変化があったが新規の文化財指定は行わなかった。今後も計画的に指定を行っていく。

施策の達成度評価

発掘調査をはじめとした各種の文化財調査の継続実施、国指定史跡の整備を進め、本市の歴史文化の解明および指定文化財の適切な保存を進めている。
また、令和2年7月には、文化庁から本市の文化財の保存と活用についてのアクションプラン「草津市文化財保存活用地域計画」について認定を受けた。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方

文化財調査および史跡整備を進め、本市の歴史文化の適切な保存を進める。
あわせて「草津市文化財保存活用地域計画」にある事業を進め、歴史文化の普及啓発・活用を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

新型コロナウイルス感染症対策のため、普及啓発事業の一部を中止、または一部をホームページの活用などリモート型へ変更した。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
埋蔵文化財発掘調査事業	歴史文化財課	○	令和2年度には32件の試掘調査、22件の本発掘調査を実施し、また発掘成果報告会「草津の古代を掘る2020」を開催し、適切に文化財保護を図ることができた。
宅地開発等関連遺跡発掘調査事業	歴史文化財課	○	民間開発、公共事業等にかかる発掘調査を行い、適切に文化財保護を図ることができた。
文化財保護助成事業	歴史文化財課	○	所有者が行う文化財保護事業に適切に支援等を行うことができた。
史跡芦浦観音寺跡整備事業	歴史文化財課	○	令和元年度に策定した「史跡芦浦観音寺跡整備基本計画」に基づき、史跡整備に向けた基本設計を進めた。
史跡草津宿本陣整備事業	歴史文化財課	○	史跡整備の一環として耐震調査を実施し、「史跡草津宿本陣耐震対策懇話会」において今後の整備に合わせた耐震対策の検討を進めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
未指定文化財調査事業	歴史文化財課
史跡野路小野山製鉄遺跡整備事業	歴史文化財課
文化財保護審議会運営事業	歴史文化財課
文化財保護推進事業	歴史文化財課
(仮称)歴史伝統館整備推進事業	歴史文化財課
文化財普及啓発事業	歴史文化財課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「人」が輝くまちへ
分野	市民文化
基本方針	文化・芸術の振興

施策番号	5-01-④
施策名	歴史資産を生かしたまちづくり

施策の概要
 市内に残る各種文化財等の積極的な活用を推進するため、総合的な文化財の保存活用計画を策定するとともに、各種展示会、行事等を通じた様々な情報発信を行います。

成果指標(単位)	史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館が主催する講座等の参加率(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	100	100	100	100
実績値	75.4	99.4	99.2	94.3	86.6

成果指標実績に対するコメント
 主催する講座等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や定員、回数を減らしての開催であった。全ての講座等において実施日前に予約者数は定員に達したが、感染状況により参加者の当日キャンセルが一定数あったため、基準値には達しなかった。

施策の達成度評価
 新型コロナウイルス感染症の影響により積極的な事業展開ができず、講座等の開催はもとより一部の企画展示も中止したが、その分、HPやFacebook等による情報発信に力を入れ、令和2年度は、街道交流館のTwitterアカウントも開設した。今後は、コロナウイルスの収束を見据え、文化財保存活用地域計画を基に保存・活用を図っていく。

評価に基づいた令和4年度の取組についての考え方
 新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら文化財保存活用地域計画に基づき、地域と協働した取組を考え、歴史文化を活用したプログラムの作成を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項
 1年を通して新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。4月11日～5月31日までの緊急事態宣言により史跡草津宿本陣、草津宿街道交流館の両館とも休館。更に草津宿街道交流館では、7月17日～8月10日まで故障による空調入替え工事で休館した。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
史跡草津宿本陣管理事業	草津宿街道交流館	△	新型コロナウイルスの影響により入館者数が大きく減少し、講座や学校連携事業等の中止や回数・定員減もあったため、十分に魅力を発信できなかった。
草津宿街道交流館運営事業	草津宿街道交流館	△	新型コロナウイルスの影響により入館者数が大きく減少し、講座や学校連携事業等の中止や回数・定員減もあったため、十分に魅力を発信できなかった。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。